

国の文化財をめぐるコース

川越駅 徒歩距離 約6.4km
 所要時間 約2時間8分

本川越駅 徒歩距離 約5.7km
 所要時間 約1時間53分

施設の見学時間は含まれません

歴史ある貴重な文化財を多く有する「小江戸川越」本コースではその中から12件の国の文化財をめぐるコースです。

シーズン：通年
 移動手段：徒歩

市街地エリアで通年楽しめるコース

8 大沢家住宅



明治26年(1893)の大火を免れた川越最古の蔵造りで、国の重要文化財に指定されています。元々は呉服商の近江屋半右衛門が1792年に建造したものです。

9 埼玉りそな銀行川越支店



青緑色のドームが特徴的なモダンな建物は、大正7年(1918)に第八十五銀行の本店として建造されました。川越の伝統的な町並みの中で近代の歩みを示す象徴として、国の登録有形文化財の指定を受けています。



12 旧六軒町郵便局



昭和2年(1927)に建築された建物は国の登録有形文化財の指定を受け、木材店や郵便局として使用されました。現在は料理店として利用されています。

11 小江戸蔵里



酒蔵を改築した小江戸蔵里は、おみやげ処、まかない処(地域の食材を利用したレストラン)、くら市場(手づくり惣菜と野菜販売)、つどい処(交流スペース)から成ります。蔵は全て国の登録有形文化財に指定されています。

1 喜多院・仙波東照宮



天海僧正と徳川将軍家の厚い庇護の下で発展を遂げた喜多院は、家光誕生の間や春日局化粧の間、慈恵堂、多宝塔など殆どの建物が重要文化財に指定されています。

3 川越キリスト教会



立教大学の礼拝堂を手がけたアメリカ人設計士ウィリアム・ウィルソンによって設計された教会で、市内最古のレンガ建築として国登録有形文化財になっています。

2 日枝神社



喜多院創建の際、その鎮守として創建された神社で、本殿が重要文化財に指定されています。東京・赤坂にある山王日枝神社は当社を分祀したものです。